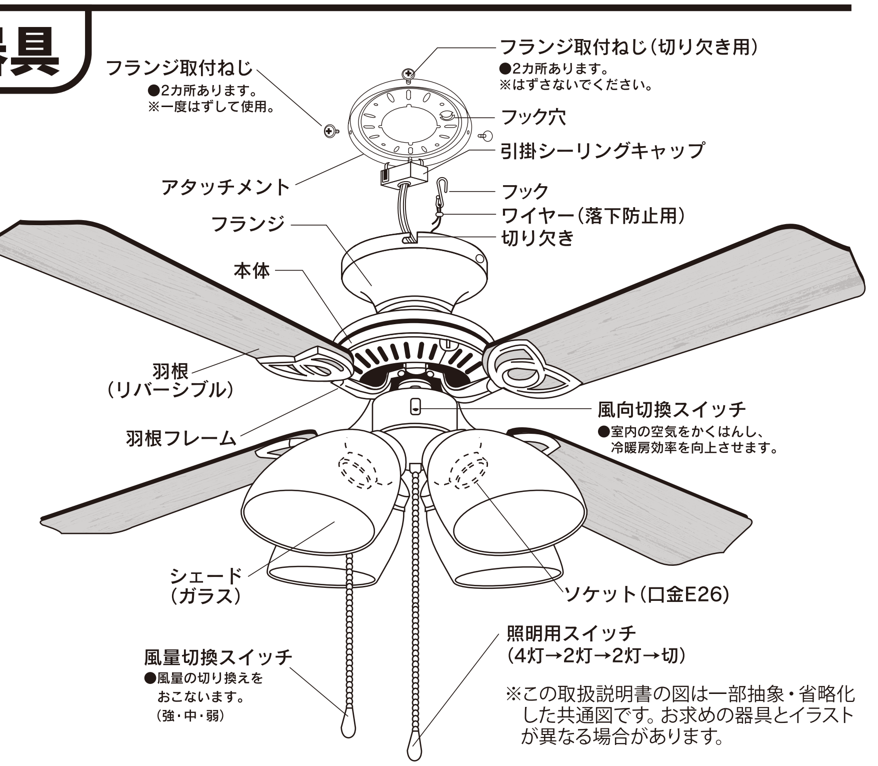
各部の名称と配線器具

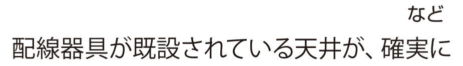
定　格	
電　圧	AC100V
適合電球 （電球別売） 口金サイズ： E26	・電球型蛍光灯（省エネ球）：12W / 13W 以下 ×4 灯 ・LED電球：9.2W以下 ×4 灯 ・白熱電球：60W 以下 ×4 灯 ※下記参照



※この取扱説明書の図は一部抽象・省略化した共通図です。お求めの器具とイラストが異なる場合があります。

●取り付けられる配線器具

※くわしくは3〜5ページをご覧ください。



配線器具が既設されている天井が、確実に器具の重量に耐えうる（補強された天井であること）を確認してください。

使用電球

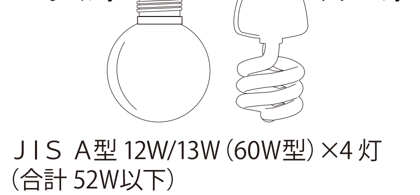
口金サイズ:E26

●電球型蛍光灯（省エネ電球）またはＬＥＤ電球をおすすめいたします。

白熱電球は各メーカー生産終了となります。より消費電力の少ない省エネ電球またはＬＥＤ電球のご使用をおすすめいたします。

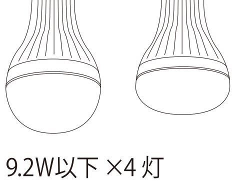
※シェードに入らない様な 大きなものは使用できません。　※規格外の電球を使用すると火災の原因になります。

●電球型蛍光灯



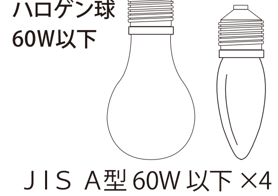
ＪＩＳ A型 12W/13W（60W型）×4 灯
（合計 52W以下）
管球最大径 60mm以下
全長 109mm以下でご使用ください。

●ＬＥＤ電球



ＪＩＳ A型 9.2W以下 ×4 灯
（合計 36.8W以下）
管球最大径 60mm以下
全長 109mm以下でご使用下さい。

●白熱電球



一般の白熱電球やハロゲン球（60W 以下）、シャンデリア球（**40W以下**）をご使用の場合は定格および取り付け方向について各電球のパッケージの記載・注意事項を必ずお守り下さい。

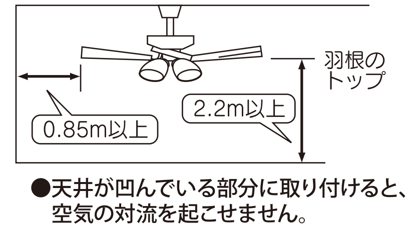
ＪＩＳ A型 60W 以下 ×4 灯（合計 240W以下）
管球最大径 60mm以下
全長 109mm以下でご使用下さい。

天井・取付位置の確認

⚠ 警告 器具の取り付けは重量に耐えるところに確実に行なってください。取付けに不備があると落下し、けがの原因になります。

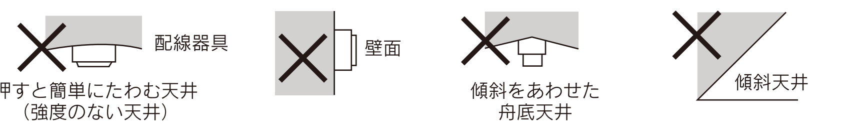
⚠ 注意

必ず下図の寸法以上を確保して取り付けてください。指定以下の寸法で取り付けると器具の破損の原因になる場合があります。

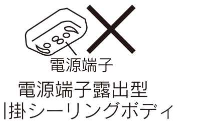


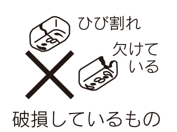
- ●天井が凹んでいる部分に取り付けると、空気の対流を起こせません。
- ●高所天井用支柱による対応品ではございません。

⚠ 警告 こんな場所には取り付けられません。落下によるけがの原因になります。



⚠ 警告 下図のような配線器具には取り付けできません。工事店、電器店（有資格者）に依頼して交換してください。一般の方の電源工事は禁止されています。

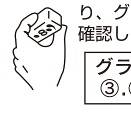




●配線器具の固定強度を確認してください。

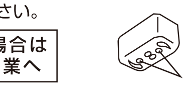
①壁スイッチ又はブレーカーを切ってください。

②埋込ローゼットや引掛シーリングをつかんで下方に強くひっぱり、グラつき等が無いか確認してください。



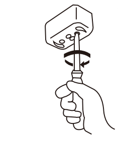
グラつく場合は
③.④の作業へ

③配線器具が木ねじ２本で固定されているかを確認してください。



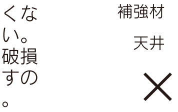
●1本の場合は2本で固定します。

④ドライバーを木ねじ穴にさし込み、木ねじが固くしめられているかを確認し、ゆるい場合はグラつきが無くなるまでしめてください。



●強くしめすぎると破損する場合がありますのでご注意ください。

木ねじは必ず補強のある箇所に確実にとめてください。



設置環境により羽根がブレたり、モーター音が共鳴する場合があります。

保守・点検・その他の留意点について

○器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は以下の通りおこなってください。
＊プラスチック部分は強くこすらず中性洗剤で拭いてください。＊金属部分は柔らかい布で軽く拭いてください。
＊ガラス部分は濡れた布で拭くか、中性洗剤をお使いください。
【ご注意】シンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。器具が変色・変形する場合があります。

○ほこりはまめにおとりください。

○明るく安全に使用いただくために、本体表示または取扱説明書にしたがって定期的（6か月ごと）に点検をおこなってください。
長期間ご使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
＊直射日光を避けて0〜35℃の温度範囲で保管してください。＊ほこりの多い場所での保管は避けてください。
＊35〜85%の湿度範囲で保管してください。

○電球が点灯していない場合、以下のようなことが考えられます。
＊電源が入っていない→壁スイッチ、その他、器具についているスイッチを再度確認してください。
＊ソケットに電球が正しくセットされていない→ソケット、電球の接続部分を再度確認してください。
＊電球の寿命→電球を交換してください。

○取付が困難な場合は専門家に取付をご依頼ください。

重要事項：長期使用製品の安全性について

⚠	**【製造年】本体に記載　照明部円筒外郭に表示** **【設計上の標準使用期間】10年**
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。

■製品仕様

羽根回転直径：105cm
全高：37cm
重量：5.6kg
回転速度切替スイッチ：プルチェーン式（3段階）
回転方向切替スイッチ：スライド式（正転／逆転）
照明スイッチ：プルチェーン式（点灯（4灯・2灯・2灯／消灯））
電圧：AC100V（50/60Hz）
スピード：低速／中速／高速

照明を含まない消費電力：38W
羽根：プリント合板4枚（リバーシブル仕様）
照明（口金サイズE26）：白熱電球60W×4灯（最大240W）／
電球型蛍光灯（省エネ球）12W・13W×4灯（最大52W）／
ＬＥＤ電球9.2W×4灯（最大36.8W）
最適な部屋の大きさ：6畳〜12畳程度
最適な羽根の高さ：床から220〜250cm
生産国：中国製

保 証 書

本保証書は本保証書記載内容で無料にて修理を行なうことをお約束するものです。

1.保証期間中、取扱についての説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買上の販売店に修理をご依頼の上、本証をご掲示ください。お買上の販売店から当社へ無料修理の依頼後、当社にて修理致します。
2.保証期間中の修理等アフターサービスについてご不明の場合、お買上販売店または当社へお問い合わせください。
3.次のような場合は、保証期間中に限らず有料修理となります。
　① 本保証書のご掲示がない場合。
　② 本保証書にお買上年月日、お客様名、お買上販売店等の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　③ ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や破損。
　④ お買上後の輸送や移動、落下等による故障や破損。
　⑤ 火災、地震、風水害等の天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障や破損。
　⑥ 故障の原因が本製品以外の他機器によって生じた修理や改善。
4.この保証書は本保証書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上の販売店または当社にご連絡ください。
5.本保証書は日本国内においてのみ有効です。

お客様へのお願い
- ●本保証書にお買上年月日、お客様名、お買上販売店名が記載されているかお確かめください。記載がない場合は、お買上の販売店にお申し出ください。
- ●ご贈答等で、本保証書記載のお買上店にて修理が出来ない場合は、当社へ直接お問い合わせください。
- ●ご転居の場合は、事前にお買上販売店にご相談ください。
- ●保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ●保証期間終了後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは当社へお問い合わせください。

商品名　シーリングファン　TI-ACF4400

お買上げ店名	印
お買上げ日	年　月　日
保証期間	お買上日より1年間

お名前	様
ご住所	〒
お電話番号	（　　）　ー

発売元
トータル・アイ株式会社
愛知県名古屋市中区錦1-7-28
TIG・ACTUS BUILDING 8F

カスタマーサポート
052-265-5763
平日（月〜金曜）午前10時〜午後5時（土日・祝祭日除く）

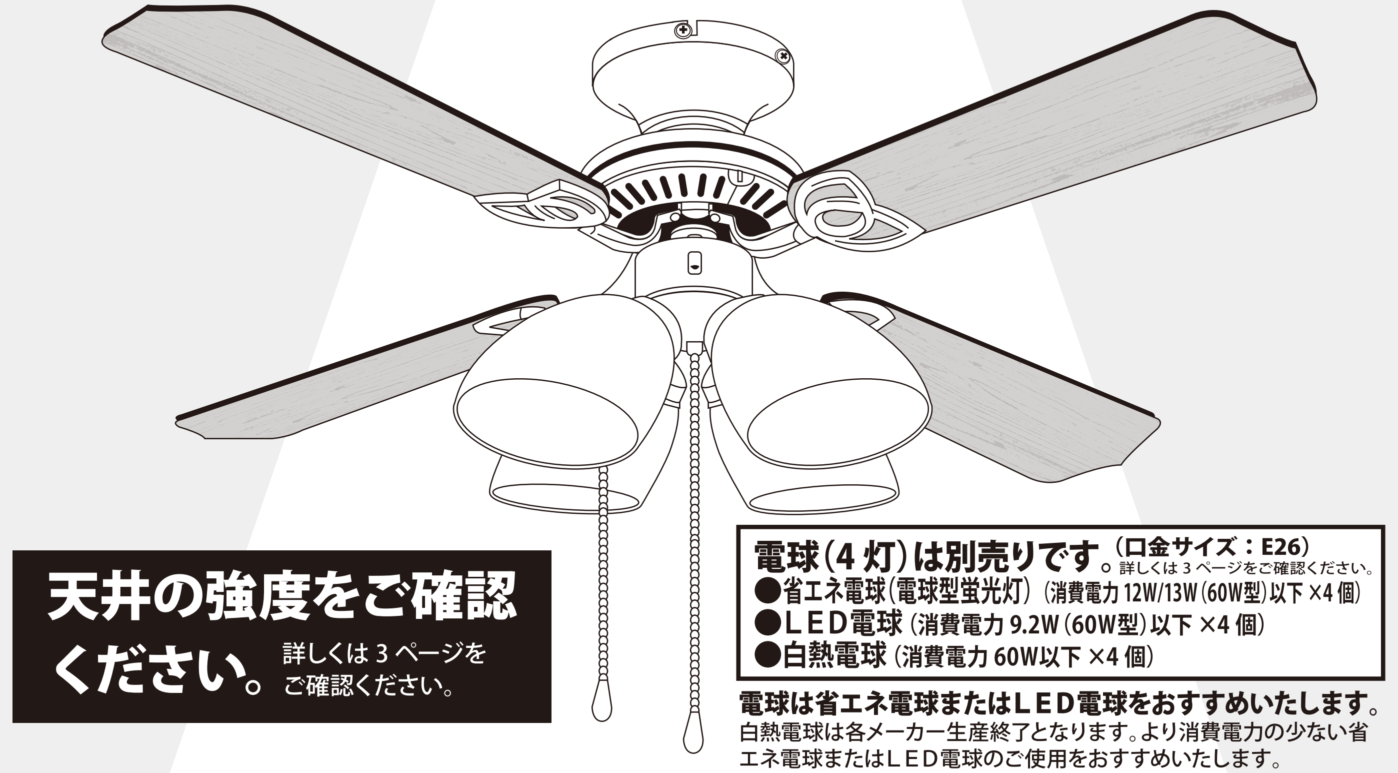
V3-2014.03（A）

取扱説明書

シーリングファン

TI-ACF4400

この度はシーリングファンをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくお使いいただけるよう、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。
お読みになりましたあとは、必ず保管してください。



天井の強度をご確認ください。 詳しくは 3 ページをご確認ください。

電球（4 灯）は別売りです。（口金サイズ：E26） 詳しくは 3 ページをご確認ください。
- ●省エネ電球（電球型蛍光灯）（消費電力 12W/13W（60W型）以下 ×4 個）
- ●ＬＥＤ電球（消費電力 9.2W（60W型）以下 ×4 個）
- ●白熱電球（消費電力 60W以下 ×4 個）

電球は省エネ電球またはＬＥＤ電球をおすすめいたします。
白熱電球は各メーカー生産終了となります。より消費電力の少ない省エネ電球またはＬＥＤ電球のご使用をおすすめいたします。

目　次

安全上のご注意……1
警告・注意……2
各部の名称と配線器具……3
使用電球……3
天井・取付位置の確認……3
器具の取り付けかた……4〜7
ご使用方法……7
保守・点検・その他の留意点について……8
製品仕様・保証書……8

保証書付

保証書はこの取扱説明書に添付しています。
必ず記入をお受けください。

ー 安全上のご注意 ー必ずお読みください。

この取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただくよう、あなたや他の方々への危害や、財産への損害を未然に防止するために次のようなマーク表示を行っています。その表示と意味は次のようになっております。内容をよくご確認の上、本文をお読みください。なお、この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見ることのできる所に保管してください。

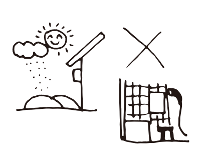
※この製品は日本国内用に設計されていますので、海外では使用できません。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

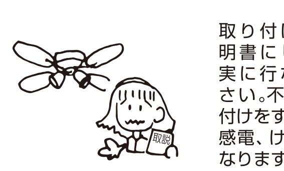
廃棄する場合

本製品を使わなくなり廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミの廃棄方法に従ってください。

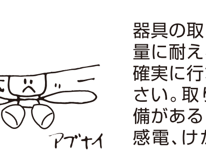
⚠ 警告　調光式電源スイッチの場合は取り付けないでください。（火災・故障の原因となります。）



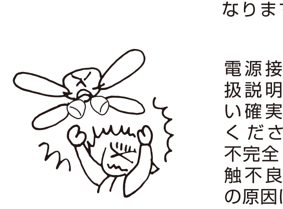
この器具は非防水型です。屋外や浴室等の水のかかる場所や湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。



取り付けは取扱説明書にしたがい確実に行なってください。不完全な取り付けをすると、火災、感電、けがの原因になります。



器具の取り付けは重量に耐えるところに確実に行なってください。取り付けに不備があると落下し、感電、けがの原因になります。



電源接続の際は取扱説明書にしたがい確実に行なってください。接続が不完全な場合は接触不良により火災の原因になります。

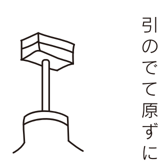
器具を改造しないでください。火災、感電の原因になります。

器具の隙間や放熱穴に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災、感電の原因になります。

コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが損傷し、火災、感電の原因になります。

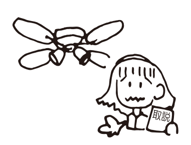
万一煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。

ファンが回転している間は、絶対に触れないでください。けがの原因になります。



引掛シーリングのみの取り付けはしないでください。落下して火災、感電、けがの原因になります。必ず、アタッチメントにフランジを取り付けてください。

布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因になります。



シェード等の部分を外し再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に行なってください。不完全に取り付けると落下し、火災、けがの原因になります。

電球およびシェードはガラス製品ですので、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。けがの原因になります。

指定以外の
ものはダメ!!

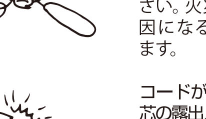
電球交換の際には本体表示および、取扱説明書にしたがって指定された電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると火災の原因になります。

電球交換やお手入れの際には必ず電源もしくはブレーカーを切ってください。切らないままで作業をされると感電の原因になります。

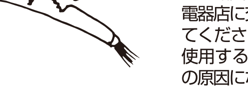
お守りください
- ●本製品を絶対に改造・修理しないでください。特に本体については、危険です。勝手に改造・修理をされた場合、当方では責任を負いかねます。
- ●不具合が発生した場合は必ず販売店又は当社カスタマーサポートにご相談ください。

⚠ 注意

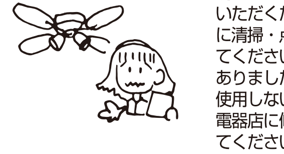
使用電圧を確認



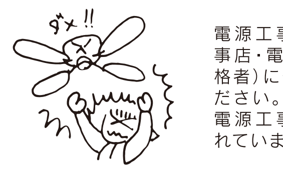
表示された電源電圧（100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になることがあります。



コードが傷んだら（線芯の露出／断線など）電器店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。



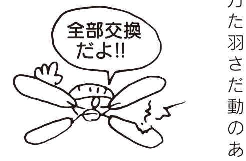
明るく安全に使用していただくために定期的に清掃・点検を行なってください。不具合がありましたらそのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。



電源工事は必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電源工事は禁止されています。

ストーブなど温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。火災、故障の原因になります。

お手入れの際は水洗いをしないでください。火災、感電の原因になります。



万一、羽根が破損した場合は必ず全ての羽根を交換してください。破損した羽根だけを交換すると振動、落下によりけがの原因になることがあります。

空気の流れが悪いと電球の熱による空気対流で周囲のほこりが天井に付着し変色させることがあります。

電球がソケットに確実に取り付けてあるか確認してください。

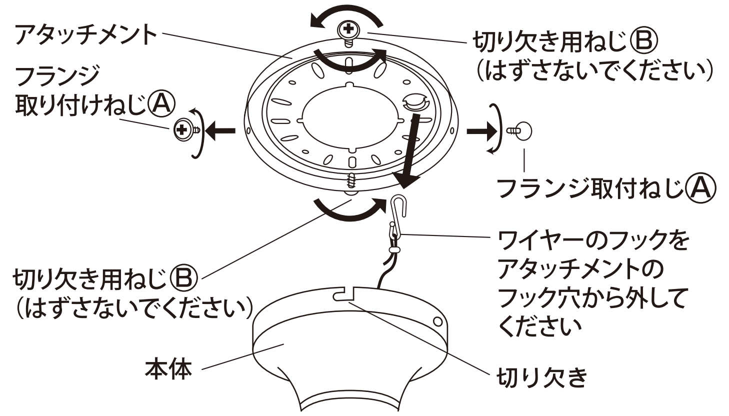
点灯中または消灯直後は電球および器具が高温になっておりますので、さわらないでください。やけどの原因となります。

器具の取り付けかた

⚠ 警告　●取付け作業の前にブレーカーを必ず切ってください。感電する危険があります。　●取付け作業は安全確保の為、必ず２人以上で行ってください。

1 取り付ける前に･･･

本体に取り付けられているアタッチメントのフランジ取付ねじ Ⓐ（2ヶ所）をいったんはずしてください。（※後で使用します。）切り欠き用ねじⒷはそのままゆるめ、アタッチメントを本体から取り外します。

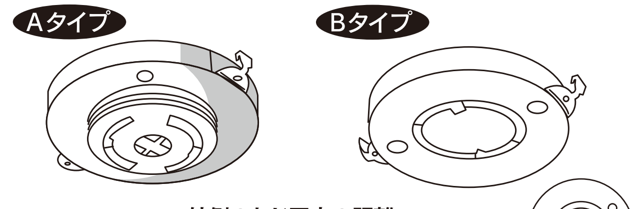

アタッチメント
切り欠き用ねじⒷ（はずさないでください）
フランジ取り付けねじⒶ
フランジ取付ねじⒶ
ワイヤーのフックをアタッチメントのフック穴から外してください
切り欠き用ねじⒷ（はずさないでください）
本体
切り欠き

2 アタッチメントを配線器具に取り付けてください。

これらの配線器具の場合はドライバー（＋）１本で簡単に取付けが出来ます。

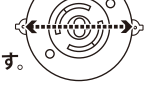
（なるべく大きめのドライバーをご使用ください。）

●埋込ローゼット（A･B タイプ）の場合

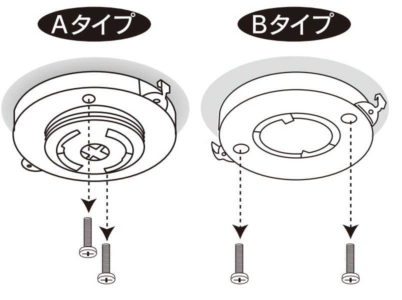


対応サイズ（※） **外側のねじ同士の距離 93〜113mm**

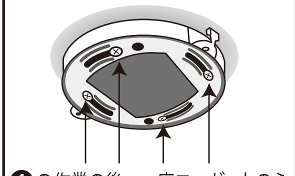
※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。



❶ まず、ローゼットについているねじ2本をはずします。



ローゼットのねじ２本をはずします。

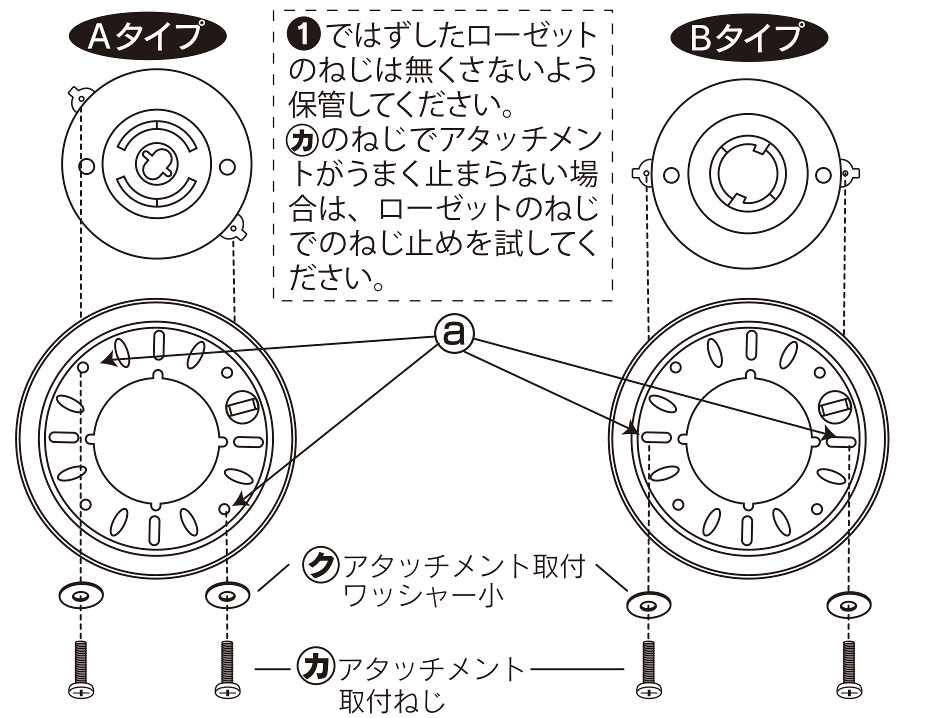


❶の作業の後、一度ローゼットのふたを開け、ローゼットの金具を天井に止めているねじがしっかり締まっていることを確認してください。ねじがゆるい場合はしっかり締め直してください。確認後は再度ふたを閉めてから❷以降の作業を行ってください。

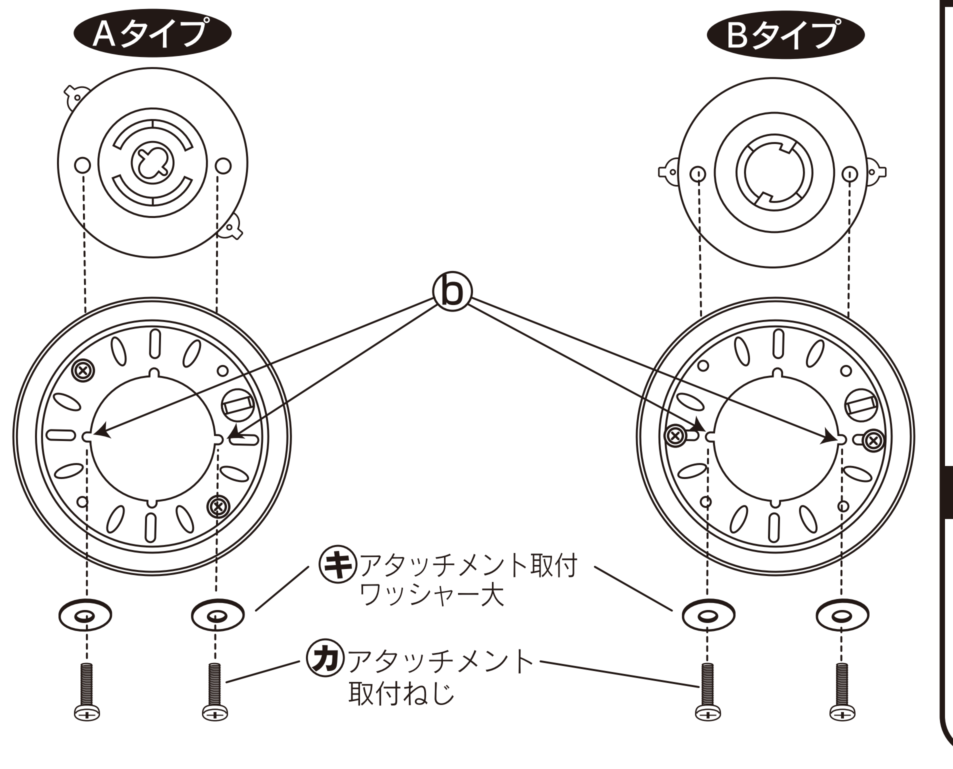
注 **Bタイプ の埋込ローゼットでも Aタイプ とネジ穴位置が同じものは Aタイプ の取付方法で取り付けてください。**

❷ アタッチメント取付ねじ ㋕ を下図アタッチメントの ⓐ の穴を通し、ローゼットの外側ねじ穴にねじ止めします。
（アタッチメント取付ワッシャー小 ㋗ をはさんでください）

❶ではずしたローゼットのねじは無くさないよう保管してください。
㋕のねじでアタッチメントがうまく止まらない場合は、ローゼットのねじでのねじ止めを試してください。

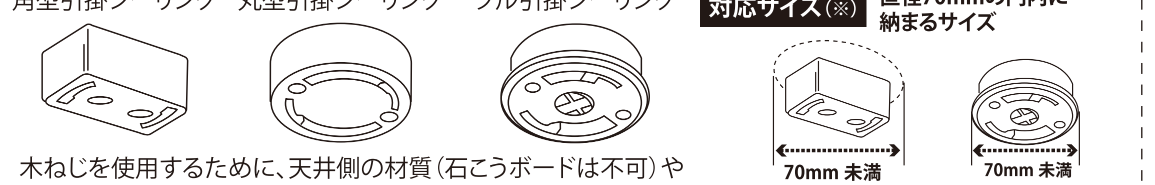


❸ アタッチメント取付ねじ ㋕をアタッチメントの下図 ⓑ の半円穴を通し、❶ ではずしたローゼットの ねじ穴にねじ止めします。
（アタッチメント取付ワッシャー 大㋖をはさんでください。）



●角型･丸型　引掛シーリングの場合

これらの配線器具は天井に穴を開けなければ取付けができません。



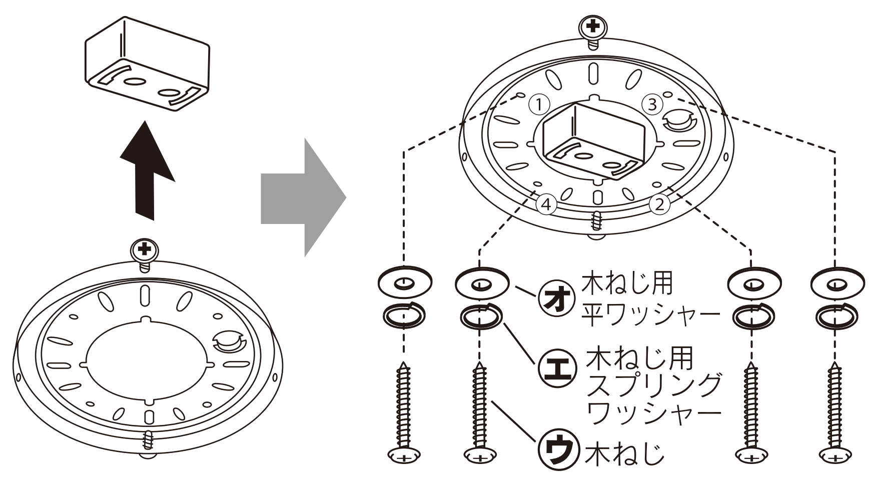
対応サイズ（※） **直径70mmの円内に納まるサイズ**

木ねじを使用するために、天井側の材質（石こうボードは不可）や受け木の有無などを確認してください。

※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。

① 引掛シーリングをアタッチメントの内穴に通します。

② 木ねじ㋒を使い、天井に直接ねじ止めします。①②③④のように対角線の順番にしっかりとまっすぐ止めてください。



※左図のように丸型のねじ穴で固定できない場合は、だ円の穴や長円形の穴をご使用ください。
その際も必ずねじは対角線上に 4 本留めてください。ねじ留め位置がかたよったり、少ない場合は本体落下や動作異常の原因となります。

※説明図は角型引掛シーリングですが丸型も同じ要領で取付けてください。

! 補強について

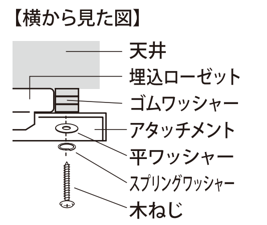
取付けたアタッチメントがぐらつき、安定しない場合は予備の木ねじで補強してください。補強の木ねじは必ず天井の補強材部に取り付けてください。

埋込ローゼットの場合

埋込ローゼットは基本的に天井の補強材部に取付けてあります。

1） 4ページ❷で取り付けた 2 本のアタッチメント取り付けねじ㋕ のすぐ隣の穴に予備部品の木ねじで補強してください。
※この時、予備部品のゴムワッシャーを2〜3枚、天井の間に挟んでアタッチメントが安定するように調節してください。

2）1）で取り付けたねじの対角線上にそれぞれ予備部品の木ねじで補強してください。

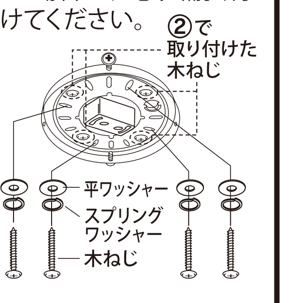


引掛シーリングの場合

天井の補強材部の位置を確認してください。補強材部が天井の一部にしか張られていない場合は、必ず補強材部がある位置に木ねじを取り付けてください。

５ページ②で取り付けた4本の木ねじ ㋒ と同様に予備部品の木ねじ４本を対角線上に取り付けて補強します。

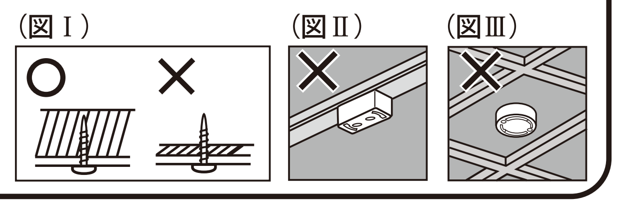
※補強の木ねじ同士も必ず補強材部に対角線上に取り付け、アタッチメントを均等な力で固定するよう調節してください。



木ねじがすぐに抜けてしまうような天井には取付けできません。（天井自体の補強工事が必要です。）

必ず強度のある天井に取り付けてください。以下のような天井には取り付けできません。

✕ 石こうボードや薄い板だけの天井、木ねじが突き抜ける天井、木ねじが空回りする天井（図Ⅰ）
✕ 室内側に補強部材があり、接続器具の周囲に木ねじを取り付けられない天井（図Ⅱ）
✕ 補強材部に接続器具が取り付けられていない天井（図Ⅲ）



⚠ 注意　**取付けが困難と思われる場合や、天井構造が取付けに不向きの場合は電気工事店などに依頼してください。**

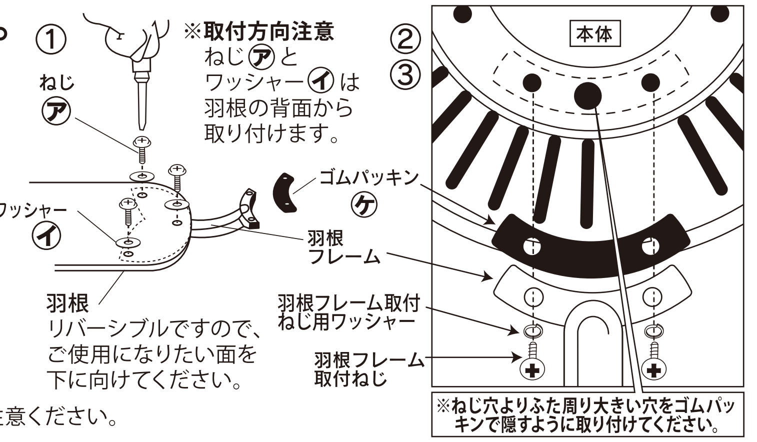
3 羽根を取り付けてください。

①羽根フレームを裏返し、その上に羽根の使用したい面を下に向けて重ね、羽根の背面からねじ㋐とワッシャー㋑で確実に取り付けてください。

②本体に取付けられている羽根フレーム取付ねじをはずします。（スプリングワッシャーも取り付けられています）。

③ゴムパッキン㋘を本体のねじ穴に重ね、その上から羽根フレームを②で外したねじとワッシャーを使って本体に取り付けます。

※本体の穴にねじ・ワッシャーを落とさないようにご注意ください。



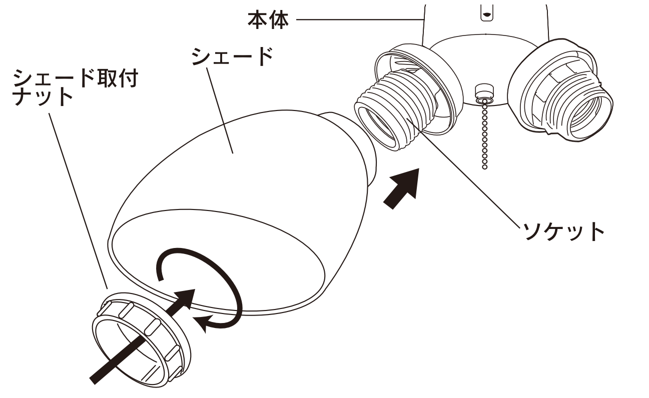
※ねじ穴よりふた周り大きい穴をゴムパッキンで隠すように取り付けてください。

4 シェードを取り付けてください。

①シェード取付ナットを反時計回りに回して本体からはずします。

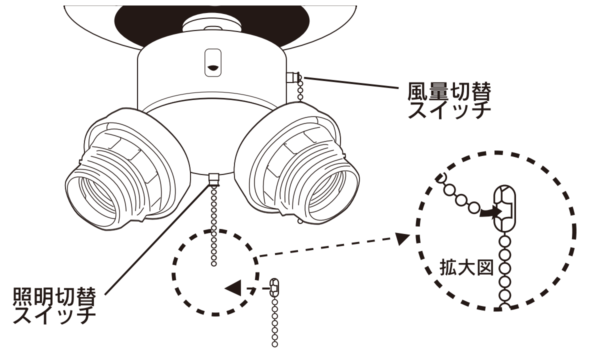
②シェードをソケット部に差し込み、①ではずしたシェード取付ナットを時計回りに回してねじ込み、シェードを固定します。

⚠ 注意
シェードの取扱い、ねじの締めすぎには充分注意してください。割れると大変危険です。

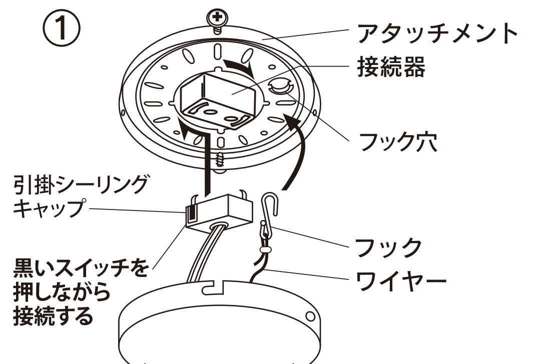


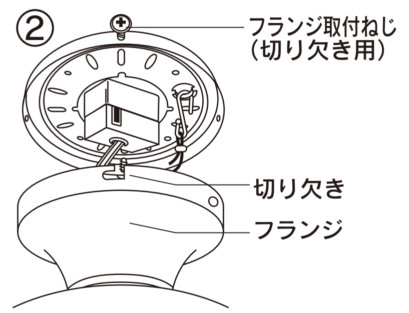
5 照明スイッチチェーンと風量切替スイッチチェーンを取付けてください。

同梱してある2本のチェーンを本体スイッチから出ているチェーンにそれぞれ取付けてください。取り付け側チェーンの先端にある接続フックを本体側チェーン玉に引っ掛けつなぎます。

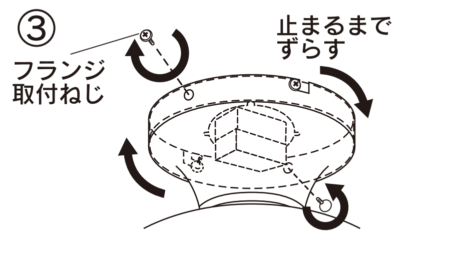


6 電源の接続･フランジの取り付けを行なってください。





② フランジの切り欠き部を、アタッチメントのフランジ取付ねじ（切り欠き用）に合わせるように天井側に押し上げてください。



③ フランジを矢印方向に止まるまでずらし、あらかじめはずしておいたフランジ取付けねじ2本をアタッチメントに取り付けてください。

① ワイヤーのフックをアタッチメントのフック穴に引っ掛けます。引掛シーリングキャップの黒いスイッチを押しながら接続器に接続して右に回し、確実に固定します。
（接続器から外す時は、シーリングキャップの黒いスイッチを押しながら左に回します。）

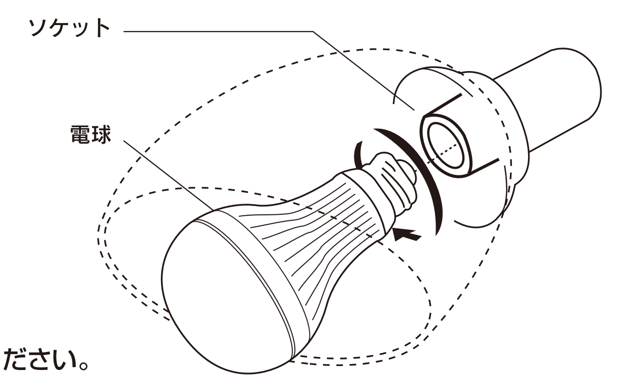
⚠ 注意
切り欠き部のねじも締めてください。
ねじは必ず 4 ヶ所で取り付けてください。

7 電球を取り付けてください。

※電球交換の際は、必ず電源を切りしばらく時間をおいてから行なってください。

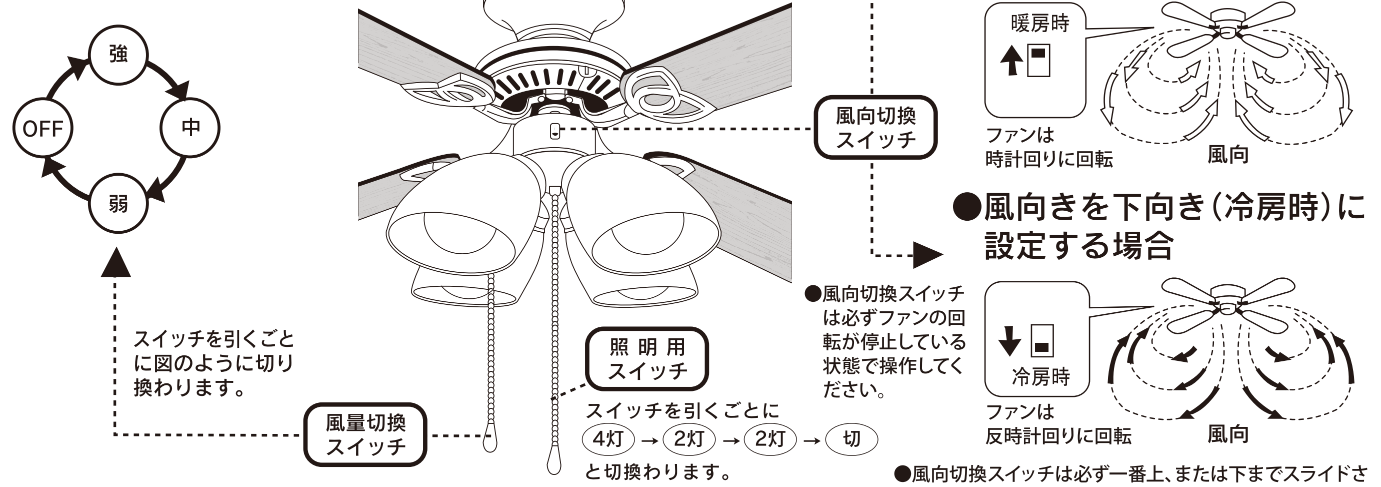
※電球の口金先端でソケット内の接触板を押さえながら、ゆっくり回して取り付けて下さい。

※電球は指定のものをお使いください。（3ページの使用電球をご確認ください。口金サイズ違い、シェードに入らない大きいものは使用できません。）



注 **取り付けが終ったら、電灯及びファンの作動確認をしてください。また、ゆれなどがないか確認してください。**

ご使用方法



スイッチを引くごとに図のように切り換わります。

スイッチを引くごとに
4灯 → 2灯 → 2灯 → 切
と切換わります。

●風向きを上向き（暖房時）に設定する場合

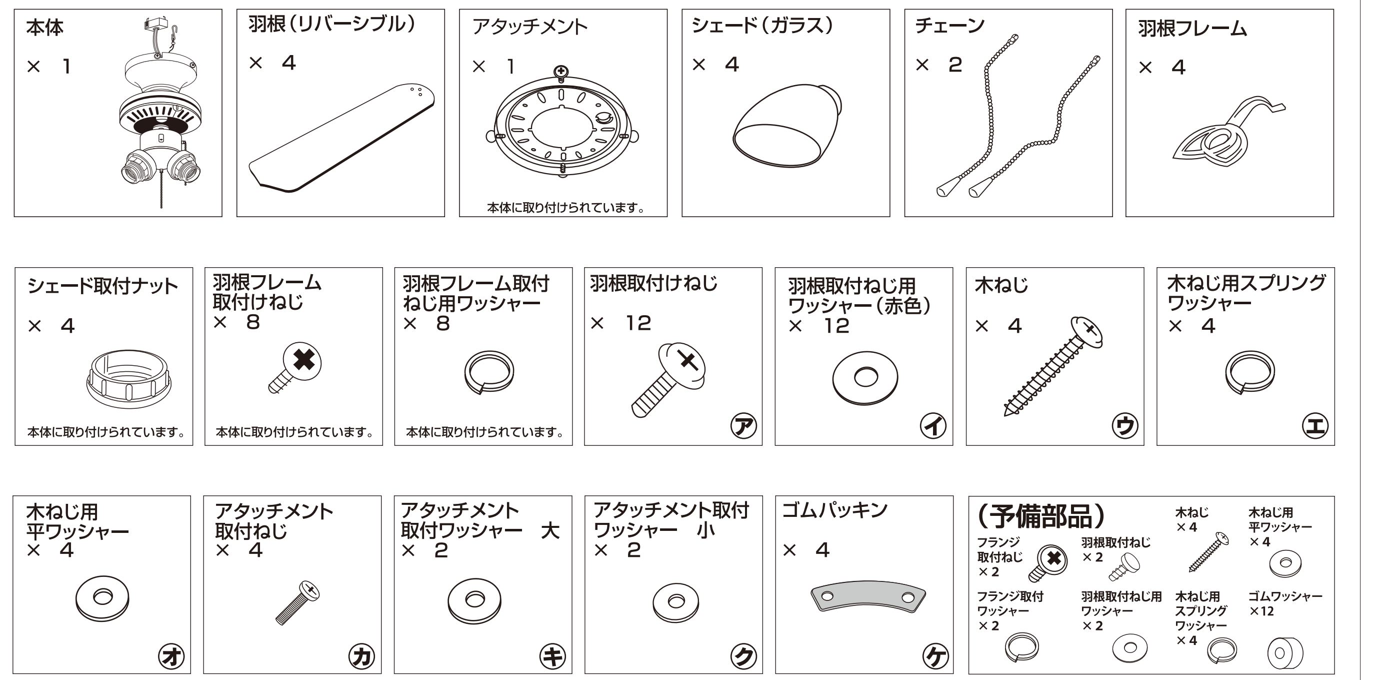
●風向きを下向き（冷房時）に設定する場合

●風向切換スイッチは必ずファンの回転が停止している状態で操作してください。

●風量切換スイッチ、照明用スイッチはなるべく垂直に、ゆっくりと引いてください。

●風向切換スイッチは必ず一番上、または下までスライドさせてください。（中間で止めると誤作動の原因になります）

■シーリングファン部品一覧

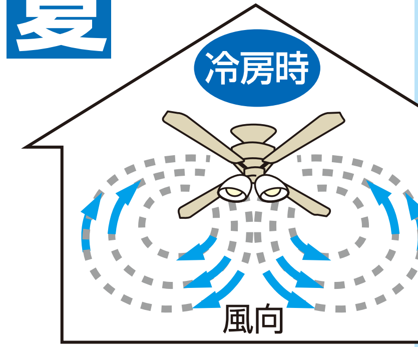


部品	数量	備考	記号
本体	× 1		
羽根（リバーシブル）	× 4		
アタッチメント	× 1	本体に取り付けられています。	
シェード（ガラス）	× 4		
チェーン	× 2		
羽根フレーム	× 4		
シェード取付ナット	× 4	本体に取り付けられています。	
羽根フレーム取付けねじ	× 8	本体に取り付けられています。	
羽根フレーム取付ねじ用ワッシャー	× 8	本体に取り付けられています。	
羽根取付けねじ	× 12		㋐
羽根取付ねじ用ワッシャー（赤色）	× 12		㋑
木ねじ	× 4		㋒
木ねじ用スプリングワッシャー	× 4		㋓
木ねじ用平ワッシャー	× 4		㋔
アタッチメント取付ねじ	× 4		㋕
アタッチメント取付ワッシャー　大	× 2		㋖
アタッチメント取付ワッシャー　小	× 2		㋗
ゴムパッキン	× 4		㋘

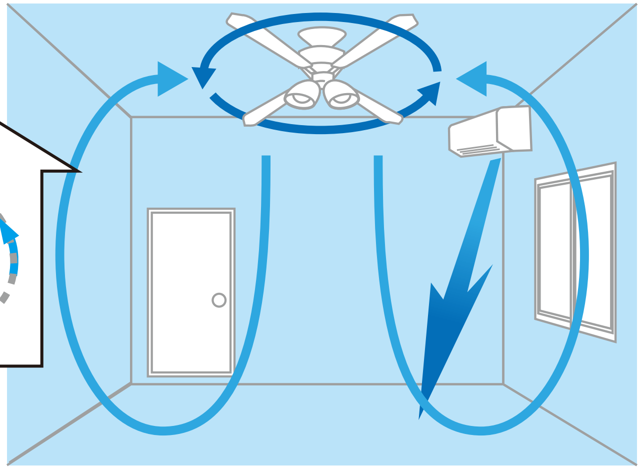
（予備部品）

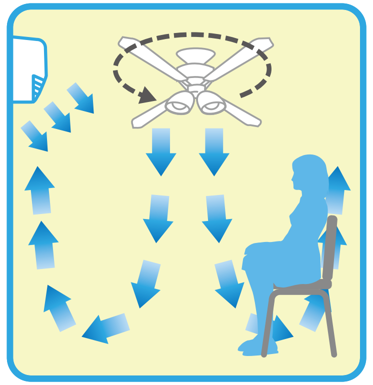
部品	数量
フランジ取付ねじ	×2
羽根取付ねじ	×2
木ねじ	×4
木ねじ用平ワッシャー	×4
フランジ取付ワッシャー	×2
羽根取付ねじ用ワッシャー	×2
木ねじ用スプリングワッシャー	×4
ゴムワッシャー	×12

夏



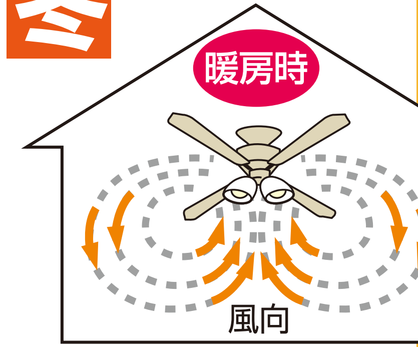
冷房時は足元に
溜まる冷気を循環。



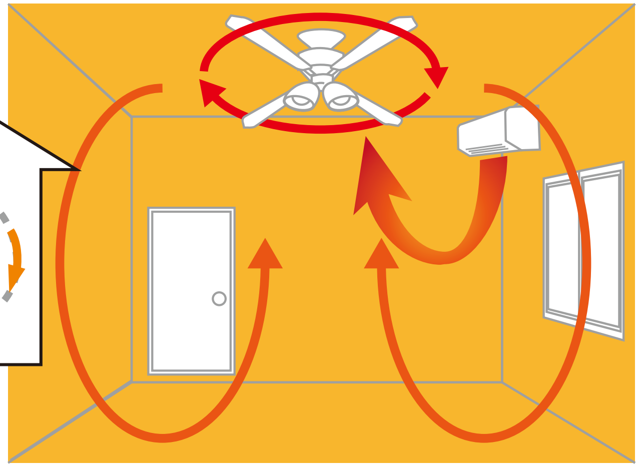


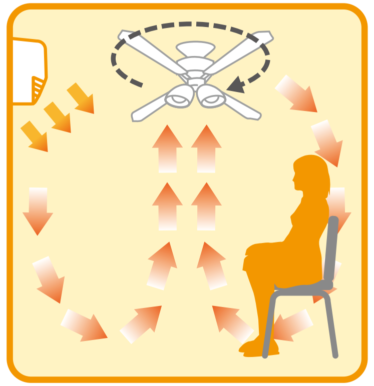
冷気が直接からだに
当たらず、人にやさしい

冬



暖房時は天井近くに
溜まる暖気を循環。





温風が直接からだに
当たらず暖房ムラを軽減

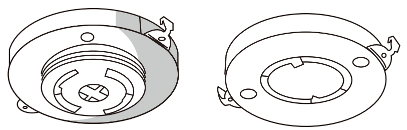
ドライバー１本で下記の配線器具に取り付けが可能です。

※大きめの＋(プラス)ドライバーをご用意ください。

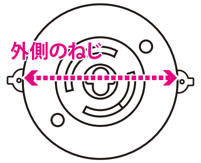
【ご注意】

●下記の配線器具以外には対応しておりません。

埋込ローゼット



対応サイズ(※) **外側のねじ同士の距離 93～113mm**



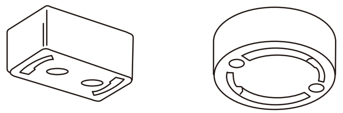
外側のねじで２箇所、内側のねじで２箇所の合計4か所で埋め込みローゼットにねじ留めをします。

※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。

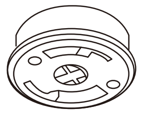
引掛シーリング

木ねじで天井にねじ留めをする必要があります。天井側の材質(石こうボードは不可)や受け木の有無などを確認してください。

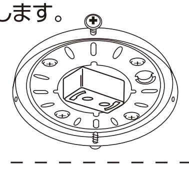
角型引掛シーリング　丸型引掛シーリング



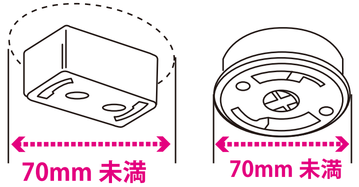
フル引掛シーリング



引掛けシーリングの外側の天井に木ねじ４本でねじ留めをします。



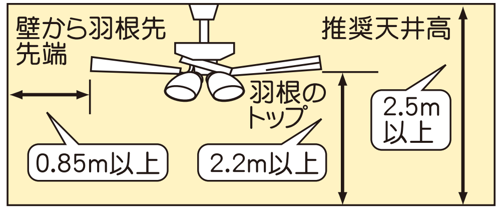
対応サイズ(※) **直径 70mm の円内に納まるサイズ**



※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。

お部屋の広さ・天井の高さをご確認ください。

⚠ 注意 必ず下記の寸法・条件を確保して取り付けてください。
指定以外の場所に取り付けると、破損の原因になる場合があります。



最適な部屋の大きさ	**６畳～12畳程度**
推奨天井高	**2.5m以上**
壁から羽根先端までの距離	**0.85m以上**

※天井が凹んでいる部分に取り付けると、空気の対流を起こせません。
※高所天井吹き抜け用支柱および吹き抜け対応品ではございません。

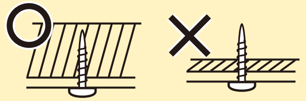
天井の強度をご確認ください。（強度不足の場合は補強工事が必要です。）

●木ねじがすぐ抜ける天井には取り付けできません。
石こうボード、薄い板だけの天井に配線器具が取り付けられている天井は不可。

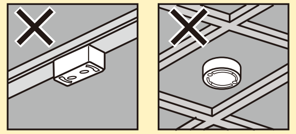
●補強材部のない天井には取り付けできません。
木ねじを取り付けて強く締め付けても空回りする天井は、補強材部が設置・固定されていませんので、補強工事（補強材部の設置・固定）が必要です。

●埋め込みローゼットの周囲の補強材部の位置をご確認ください。
埋め込みローゼットは基本的に天井の補強部材に取り付けてあります。ローゼットの平行線上に木ねじを取り付けると、本体を固定できます。

※必ず強度のある天井に取付けてください。



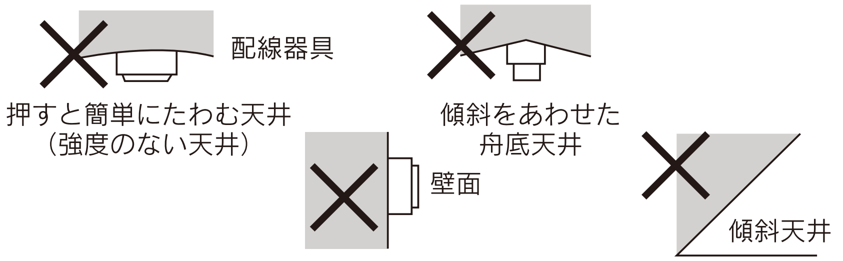
※図のような天井には取付けないでください。
また傾斜天井や湾曲天井への取付けも



天井の形状と配線器具の取付け状態をご確認ください。

⚠ 警告 器具の取付けは重量に耐える形状に確実に行ってください。天井の強度不足や取付けに不備があると本体が落下し、けがの原因となります。

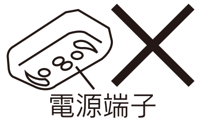
●こんな場所には取付けられません。落下による原因となります。



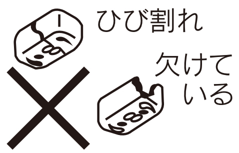
配線器具の種類・破損状態をご確認ください。

⚠ 警告 下図のような配線器具には取付けできません。工事店、電気店（有資格者）に依頼して交換してください。一般の方の電源工事は禁止されています。

●こんな配線器具には取付けられません。感電・火災の原因となります。

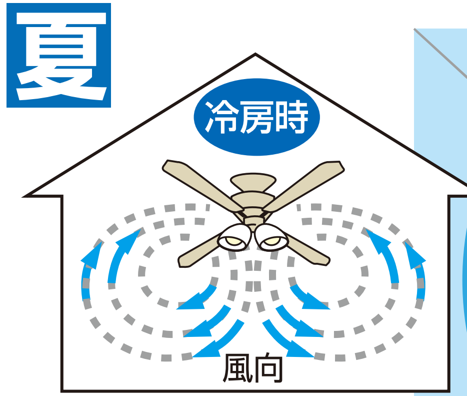


電源端子露出型
引掛シーリングボディ

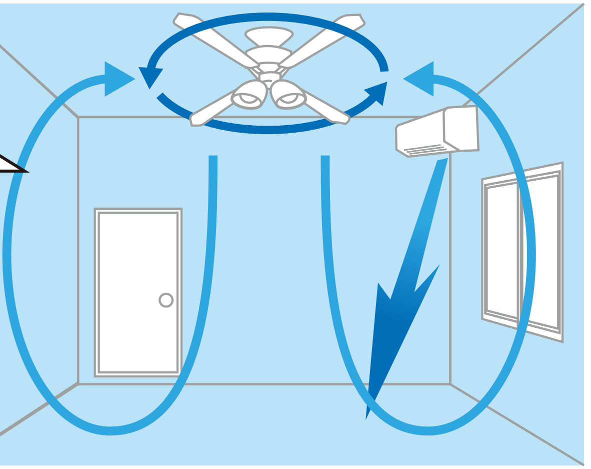


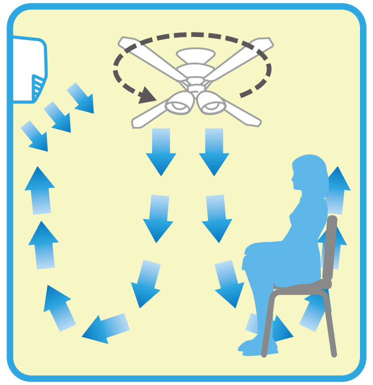
破損しているもの

夏



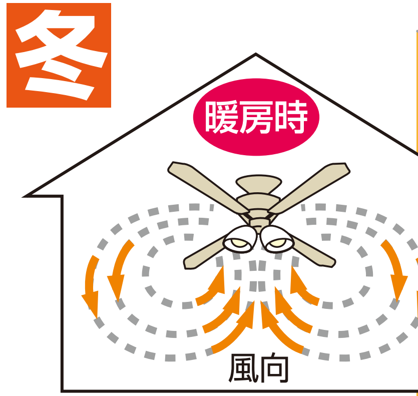
冷房時は足元に
溜まる冷気を循環。



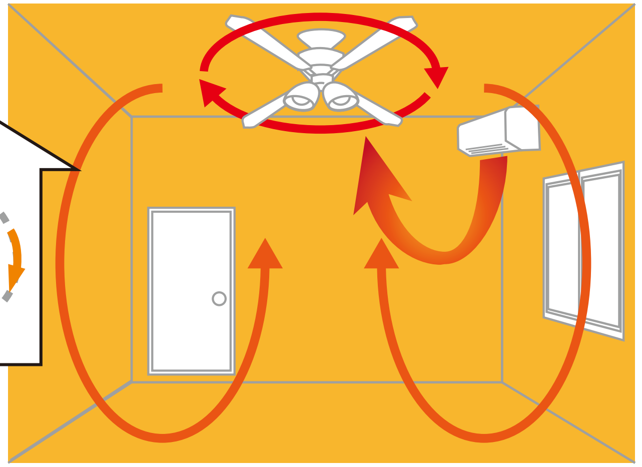


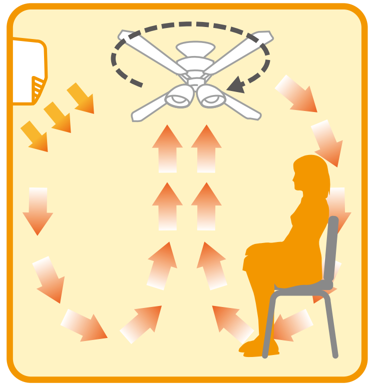
冷気が直接からだに
当たらず、人にやさしい

冬



暖房時は天井近くに
溜まる暖気を循環。





温風が直接からだに
当たらず暖房ムラを軽減

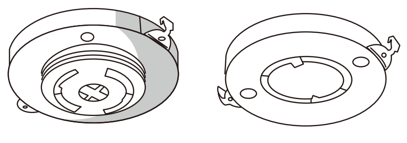
ドライバー１本で下記の配線器具に取り付けが可能です。

※大きめの＋(プラス)ドライバーをご用意ください。

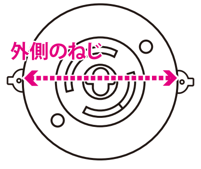
【ご注意】

●下記の配線器具以外には対応しておりません。

埋込ローゼット



対応サイズ(※) **外側のねじ同士の距離 93～113mm**



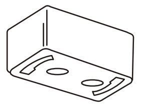
外側のねじで２箇所、内側のねじで２箇所の合計4か所で埋め込みローゼットにねじ留めをします。

※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。

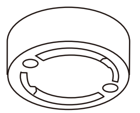
引掛シーリング

木ねじで天井にねじ留めをする必要があります。天井側の材質(石こうボードは不可)や受け木の有無などを確認してください。

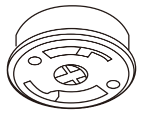
角型引掛シーリング



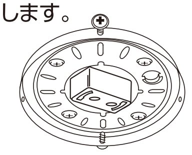
丸型引掛シーリング



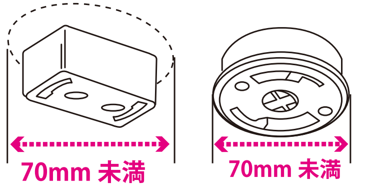
フル引掛シーリング



引掛けシーリングの外側の天井に木ねじ４本でねじ留めをします。



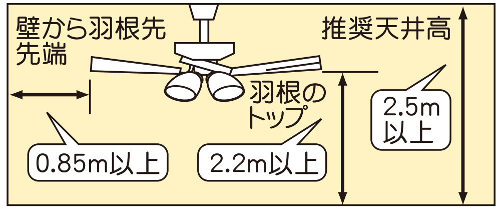
対応サイズ(※) **直径 70mm の円内に納まるサイズ**



※上記対応サイズでも形状によって設置できない場合があります。

お部屋の広さ・天井の高さをご確認ください。

⚠ 注意 必ず下記の寸法・条件を確保して取り付けてください。
指定以外の場所に取り付けると、破損の原因になる場合があります。



最適な部屋の大きさ	**6 畳～ 12 畳程度**
推奨天井高	**2.5m以上**
壁から羽根先端までの距離	**0.85m以上**

※天井が凹んでいる部分に取り付けると、空気の対流を起こせません。
※高所天井吹き抜け用支柱および吹き抜け対応品ではございません。

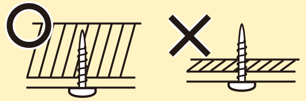
天井の強度をご確認ください。（強度不足の場合は補強工事が必要です。）

●木ねじがすぐ抜ける天井には取り付けできません。
石こうボード、薄い板だけの天井に配線器具が取り付けられている天井は不可。

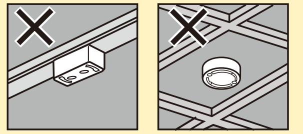
●補強材部のない天井には取り付けできません。
木ねじを取り付けて強く締め付けても空回りする天井は、補強材部が設置・固定されていませんので、補強工事(補強材部の設置・固定)が必要です。

●埋め込みローゼットの周囲の補強材部の位置をご確認ください。
埋め込みローゼットは基本的に天井の補強部材に取り付けてあります。ローゼットの平行線上に木ねじを取り付けると、本体を固定できます。

※必ず強度のある天井に取付けてください。



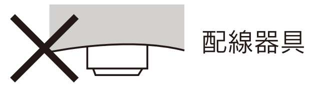
※図のような天井には取付けないでください。
また傾斜天井や湾曲天井への取付けも



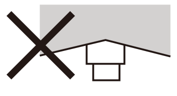
天井の形状と配線器具の取付け状態をご確認ください。

⚠ 警告 器具の取付けは重量に耐える形状に確実に行ってください。天井の強度不足や取付けに不備があると本体が落下し、けがの原因となります。

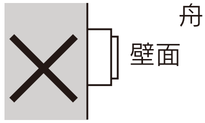
●こんな場所には取付けられません。落下による原因となります。

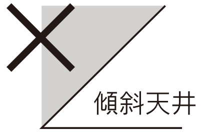


押すと簡単にたわむ天井
(強度のない天井)



傾斜をあわせた
舟底天井

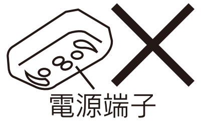




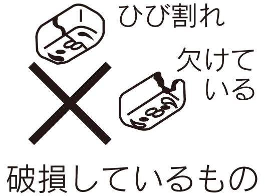
配線器具の種類・破損状態をご確認ください。

⚠ 警告 下図のような配線器具には取付けできません。工事店、電気店(有資格者)に依頼して交換してください。一般の方の電源工事は禁止されています。

●こんな配線器具には取付けられません。感電・火災の原因となります。



電源端子露出型
引掛シーリングボディ



破損しているもの